

日本の医療廃棄物処理の技術を世界へ！

世界各国から来日した研修員が加山興業(株)を訪問

8月10日(金)11:30～15:45

国際協力機構(JICA)が結核研究所と共に開発途上国を対象に実施する研修「医療関連感染管理指導者養成研修」の一環で5か国7名の研修員が加山興業株式会社を訪問します。

環境に負荷をかけず、医療廃棄物を安全に処理して限りある資源を循環させることは持続可能な社会を実現するために必要です。しかし開発途上国では、病院から出る医療廃棄物は敷地内に埋め立てられたり、投棄されたりと適切に処理されないケースが多いのが現状です。30年以上の歴史がある本研修には、開発途上国から保健省職員や病院の感染管理責任者が参加し、自国での院内感染対策強化に向けた知識・技術を習得します。加山興業株式会社¹では、有害廃棄物の適正処理、リサイクル率向上の取組み、企業社会責任、ラオスでの協力事例等について学びます。

	日時	内容	場所
8/10(金)	11:30-12:30	<講義>加山興業事業紹介	加山興業
	13:15-14:15	<講義>途上国での医療廃棄物処理マネージメント	豊川営業所
	14:15-15:45	産業廃棄物処理施設見学 & ディスカッション	(豊川市南千両2-1)

訪問者：JICA 研修員（エジプト、リベリア、シエラレオネ、ウガンダ、ミャンマー）

研修受託先：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構（JICA） 東京センター

人間開発・計画調整課 平野 志穂

TEL： 03-3485-7079 E-mail：Hirano.Shiho.2@jica.go.jp

※電話でのお問い合わせは平日（9：30-16：45）のみ繋がります。

※ご取材いただける場合は事前に上記までご一報ください。

¹ 加山興業（株）はJICAの「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～（途上国の開発ニーズと日本企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための事業）」の採択を受け、ラオスの医療廃棄物を含む有害廃棄物の処理・管理の改善に向けて取り組みを開始している。